蟲鈴蟲鑓蟲等世賞之而本草不載之唯羅山文集云、一蟲號轡大無幾、誰知鞭策是蒲葦、恰似蒼蠅附驥來、但在口吻不在尾、

〔栗氏蟲譜下〕紡績娘　クツワムシ、赤青褐ノ三種アリ、其盛ニ啼トキ、翼ヲ動シ、薄暮コリ夜中索々トシテ聲ヲナスコト、連綿トシテ不止、極テカマビスシ、因テ唐山ノ人聒々兒ト虫、

〔枕草子九〕笛は

ひちりきは、いとむつかしう、秋の虫をいはゞ、くつはむしなどにて、うたてけぢかくきかまほしからず、

〔赤染衛門集〕くつはむしのちかくなきしに

秋の野をわけてばかりはたれかこんくつはの聲のちかくする哉

〔夫木和歌抄十四虫〕久安百首　前參議親隆卿

いこま山ふもとの野べもゑもかれてすみかもみえぬくつわむしかな

〔新撰字鏡虫〕蛄祛吉反、蛣螘也、螻、伊比、

〔倭名類聚抄十九蟲多〕螳蜋螳螂附　兼名苑云、螳蜋堂郎二音一蟷蠐、當餉二音、和名以保無之利、

〔箋注倭名類聚抄八蟲名〕爾雅不過蟷蠐、郭注、蟷蠐蜣蜋別名、兼名苑蓋本之、蟷蠐螳蜋聲相轉也、按廣韻去聲四十一漾云、蠐、食桑蟲、似天牛、音餉、又平聲十一唐云、蠐、蟷蠐、蜣蜋也、音囊、二音其義不同、此以餉音蠐、恐誤、本草和名作音襄、襄在平聲十陽、又與廣韻異、然陽唐常通、古或有是音、〇略中羅願曰、蜣蜋蠐首奮臂、頸長而身輕、其行如飛、有馬之象、李時珍曰、大腹二手四足、善緣而捷、以翳代鼻、喜食人髮、能翳葉捕蟬、新撰字鏡、蛄訓伊比保牟志利、今俗呼加万幾利、相摸謂之以保之利、或曰以保久比、陸奥謂之以保左之、或曰以保牟之、蠆文類聚云、王瓚問曰、爾雅莫貉螳蜋同類物也、燕趙之際謂之食肬、此蓋鄭志之文、以保无之利之名、與食肬合、

螳蜋